

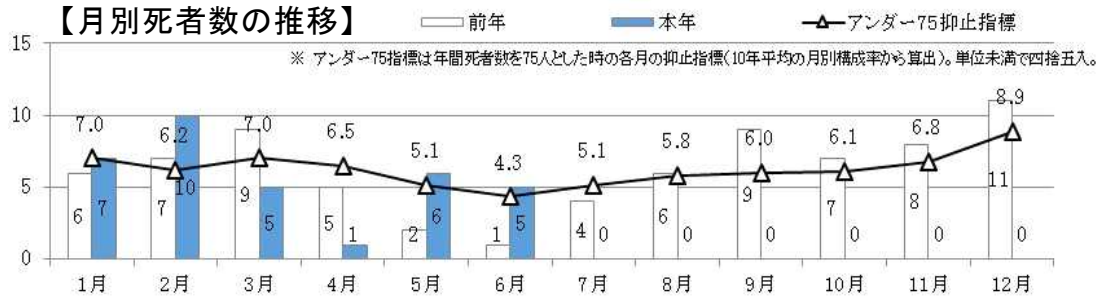
令和2年7月17日
警察本部

交通事故発生状況等について（令和2年上半期）

1 交通事故発生状況

区分	令和2年 上半期	令和元年 上半期	増減	
発生件数	2,357件	3,148件	-791件	-25.1%
死者数	34人	30人	+4人	+13.3%
負傷者数	2,770人	3,842人	-1,072人	-27.9%

【月別死者数の推移】



2 交通死亡事故の特徴等（34件34人） 注：高齢者は、65歳以上を指す。

- (1) 状態別
 - 歩行者16人，四輪8人，二輪6人，自転車4人
- (2) 類型別
 - ・ 人対車両14人，車両単独10人，車両相互8人，列車2人
 - ・ 人対車両のうち，9人が道路横断中（前年同期比+1人）
 - ・ 単独の交通死亡事故が増加（前年比+5人）
- (3) 年齢別
 - ・ 高齢者が16人と最多で，死亡事故全死者の約半数を高齢者が占める。
 - ・ 高齢者の年齢別では，80歳代（8人）が最多，次いで70歳代（5人），90歳代（2人），60歳代（1人）と続く。
 - ・ 高齢者の状態別では，歩行中（10人），四輪（4人），自転車（2人）

3 主な取組

- (1) 歩行者被害交通事故防止対策
- (2) 早めのライト点灯と上向きライトの適切な使用に関する指導啓発
- (3) 令和2年春の全国交通安全運動，自転車マナーアップ強化月間
- (4) 学校教育活動再開時における児童等の交通事故防止対策の強化
- (5) モデル横断歩道等を中心とした街頭啓発及び交通指導取締り

4 今後の主な推進事項

- (1) 歩行者及び自転車の交通事故防止対策の強化
- (2) 交通指導取締りの強化
 - 飲酒運転，速度違反，横断歩行者等妨害，自転車
- (3) 改正道路交通法の円滑な施行
 - いわゆる「あおり運転」抑止に向けた広報啓発の推進